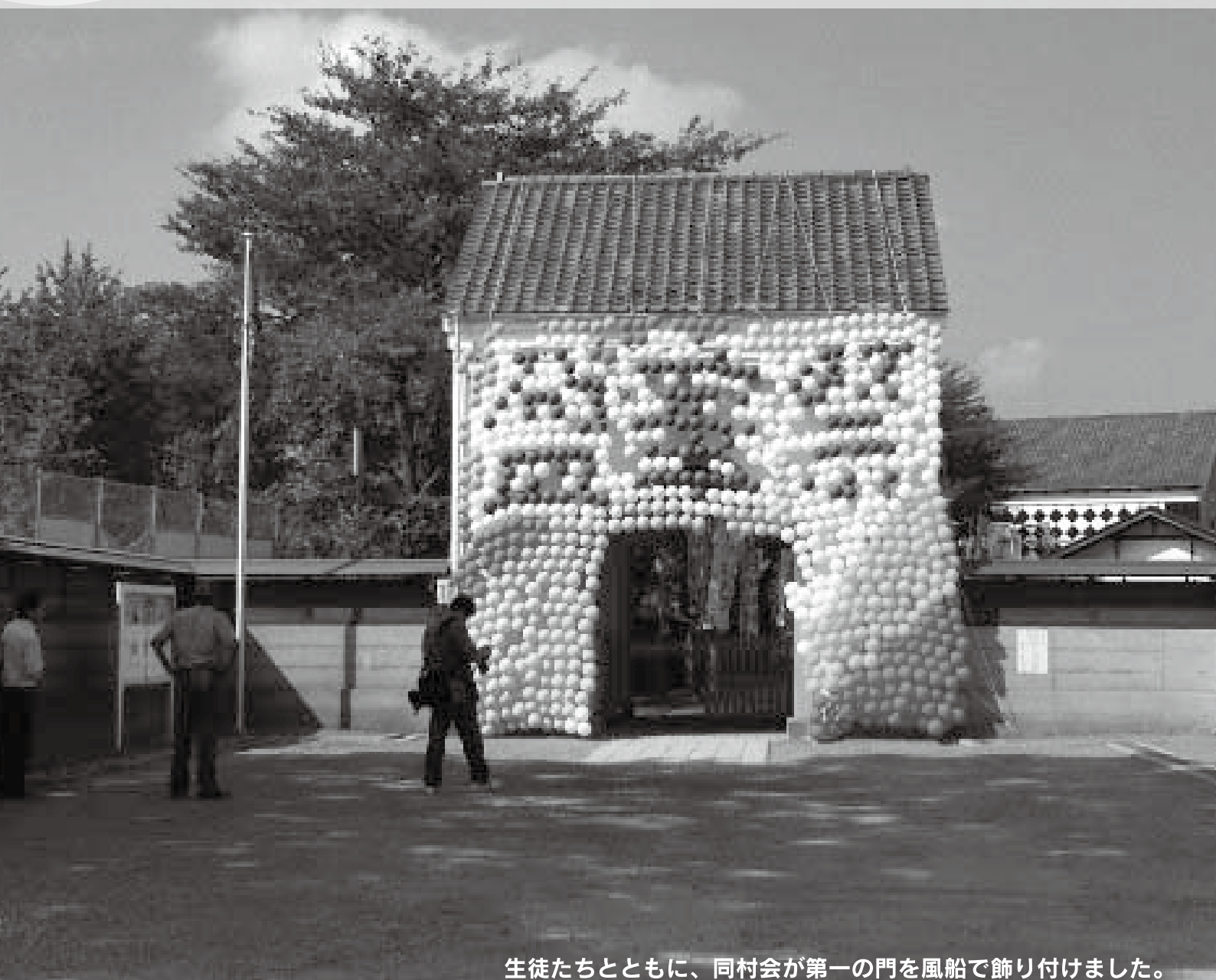


No. 6

東野高等学校同村会会報

2013 年発行

風を見る者



生徒たちとともに、同村会が第一の門を風船で飾り付けました。

発
行
者

東野高等学校同村会（同窓会）

〒358-8558 埼玉県入間市大字二本木 112-1

メールアドレス : info@dousonkai.com

ホームページ : <http://www.dousonkai.com>（同村会）
<http://eishin.ac>（東野高校）



新会長あいさつ

臥龍鳳雛

東野高等学校卒業生の皆さん。二〇一二年より新たに東野高等学校同村会（以下「同村会」と言います）会長に就任しました、一期生の遠山尚です。

ご存じの方も多いかもしれませんが、東野高等学校（以下「東野」と言います）は、開校から約三〇年の歴史を作りつつある中で、いま、大きな変革期に入っており、変革を求められる側面と、自ら変わるべき側面、そして変革を余儀なくされる側面が混在し、様々な事象が、それぞれ煩雑さを伴って東野を取り巻いています。

そのような中、発足から二〇年以上を経過した同村会は、役員が極少数となった時期も、決して歩みを止めずにその存在を皆に示して来ておりました。これも、同村会発足時からの、歴代の会長並びに各役員の並々ならぬ御苦労

があったからに他なりませんし、あらためて感謝しています。

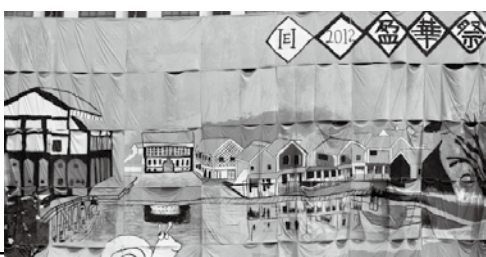
しかし、前述のような東野の変革に伴い、学校内外からの要求や、会の存在意義・目的を含め、同村会が、成熟した組織へさらなる成長をすべき時期を迎えていることも事実で、先の同村会総会において、同村会の成長を望む世代を超えた卒業生たちが、役員に多数選任されたこともその憂いの表れであろうと思います。さて、標記した臥龍鳳雛（がりようほうすう）：ですが、あまり耳慣れない四字熟語かもしれませんが（あえて意味は書きませんが）。本来、個人に対する言葉ですが、同村会と在校生の関係や現状を考えたとき、正に的を得た言葉であると感じ、また、私が在籍していた当時の先生方と生徒たちがこの言葉のとおりで、数千名もの卒業生を輩出するために切磋琢磨した先生方や、今日の卒業生たちの力は、本当に計り知れないものとなりました。

他方、社会情勢では、利潤追求の経済先行で政治不在と言われていますが、その実、グローバルズムを激賞し、憲法に保障される権利、教育や福祉を蔑ろにする新自由主義化が政治によって推進されています。

このような社会に対し、東野へ入学・卒業をする生徒たちをどのように見守り・思慮させて行くかは、学内だけの領域ではなく、同村会もその一端を担う時期であり、大きな力を持つていくということ、そして、数年後に同村会の会員となる在校生は、さらに大きな力を秘めていることは、決して看過してはなりません。

同村会は、一歩ずつではありますが、成熟した会へと変わっていきます。変わることが会員のためにできることが変わり、その結果が在校生のためとなる力を十分に持ち合わせているからです。

東野卒業生の皆さん。心の片隅に、「同村会があり、私は同村会の仲間である」という気持ちをもち続けて下さい。



9 15・16 盈華祭

二〇一二年九月十五・十六日と、東野高校にて「盈華祭」が賑々しく開催。当初心配された天気は両日とも無事に太陽が顔を出し、暑く感じられる陽気でした。

同村会は、第一の門を風船で飾り付けたほか、多目的ホール前にテントを設置。休憩所を開設し、来訪者に冷たいお茶を振舞いました。



●第一の門の飾りつけ

『在校生に卒業生として何か伝えられないか』という思いで、数年前から盈華祭に参加していた卒業生有志たち。今年度から同村会とタッグを組み一緒に参加することになりました。

生徒たちと重複しない企画や場所など、学校との相談を重ねながら企画を練りました。その結果、来校時に一番に目に入る第一の門を飾り付ける事に決断。風船で飾る事になりました。菜園用のネットに風船をくくり付け、絵を描くのです。まず方眼紙にデザインをし、図案通りにネットに風船をくくり付けていく……。その数、九百個。

盈華祭前日。予想外の風も手伝い、作業は想像以上に困難でした。しかし途中、在校生が手伝ってくれるという嬉しいハプニングもありました。どんどん集まってきてくれる在校生、作業も一気にペースアップしました。高校生気分の人たちと、本物の高校生との会話。楽しいひと時でし

た。生徒たちが下校した後もライトで照らしながら作業は続きました。予定時間を上回った作業を、理解、応援して下さった学校の協力もあり無事完成することができました。準備の時は腹立たしくさえ感じた風でしたが、盈華祭当日は風が吹くたびに風船を揺らし、想像以上に華やかな門になりました。

僅かかもしれませんが、私たち卒業生の思いも伝わり、盈華祭に華を添えられたのではないかと思っています。

●多目的ホール前休憩所

正門に続く道すがら顔馴染みの先生方に挨拶をしつつ同村会のテントへ向かいました。かねてより準備の進められていた同村会のはつぴが、まずは同村会関係者に貸し出され、同村会のテントは弾けるようなオレンジに満ちました。オレンジの生地に紺色でシンボルが刷られた同村会のはつぴは予想以上に目立つようでした。その後在校生に貸し出したところ、あちらこちらで目の覚

その気持ちが、同村会の力となり、東野の力になるのです。明日の同村会のために、皆さんの支援とご協力を御願致します。

めるようなオレンジを目にする事ができました。

テントに居る間、予想したよりも多くの卒業生や先生方がテントに立ち寄り、先輩後輩間わず言葉交わし、中にはかなり長い間顔を合わせず、久方ぶりの再会を果たした者も居ました。筆者は同期生と再会する事はできませんでしたが、在校生時代所属していた部活の現役生からの招きを受けて当該教室へ行き、彼らとしばし話をしましたが、在校生に戻ったという感覚ではなく「良い後輩ができたな」と感慨深かったです。

テントに戻ると、在校生のアイス売りが来ており、中身を見せてもらいました。何やら見慣れぬ形状のシロモノがプラスチックのカップに入っていて、しかもカラフル。彼らより、その名状しがたいアイスを手して食すと、乾いた氷が舌に貼り付き、火照った諸々に染み渡る冷たさ、思考もシャッキリ。

二日目の最後、テントの撤収に足を向けると、そこにはもうテントは無く、代わりに文化祭実行委員の姿がありました。聞くと、撤収は彼らの手によるものらしい。その中に居た現役生が非常に元気がよく好感が持てました。筆者は数年ぶりに「盈華祭」に参加しましたが、彼らのような現役生が居るならば、次回の「盈華祭」にも足を運ぶ何かが十二分にあるというものです。新しき東野の地を託すに相応しい若人の姿を目にし、次回の「盈華祭」に思いを馳せる事ができるのですから。

それが世の幸福に値するものであるかは個々の判断に任せますが、かつて通った母校に、多少なりとも未来を見ることができるとするならば、これは幸福なのかもしれない。現役時代のように……と言うのはいささか難題ですが、筆者は自分にできる範囲で関わって行くのではないかと、思う次第です。



文化祭二日目、筆者は同村会ブースから席を外して、毎年恒例の東野プロレスを観戦しに行った。

武道場にリングを組んで行われるこのプロレスは、一度見ると次の年も見に行きたくなるという中毒性の高い物で、少なくとも筆者はハマってしまっただけである。

今回も黒ドラ氏やオバQ氏、ザ・グレート・カイ・ゴ氏を始めとするレスラー陣と、名レフェリーと名高いミスター杉山氏らが興業に花を添えた。入り口でパンフレットを受け取ったら任意の席へ。筆者は相撲で言う所の砂かぶり、横文字で言えばアリーナ、演劇で言うならば敷敷の席を陣取り、iPhoneのカメラをスタンバイして来るべき絢爛の時間に備えた。

選手入場、それぞれに個性の感じられる入場が続く中、オバQ氏は入場の際にハイタッチを観客と交わすなどファンサービスも素晴らしい(筆者もハイタッチを交わしたが、オバQ氏の並々ならぬ気合を感じた)。試合が始まれば、場は興奮と笑い

に包まれる。オバQ氏や、モンパン一派のルパン氏の、トップロープから繰り出す華麗なダイビングからのボディプレスがマットに伏す相手に炸裂したかと思えば、名作

映画『炎のランナー』のテーマ曲に乗せてリング上の時間がスローモーションに変わり、出場レスラー陣とミスター杉山氏による人間ピラミッドなど、非常に見応えのある試合運びであった。

毎回記事を書くたびに言っている事だが、卒業生が忙しい合間を縫ってここまで高いパフォーマンスを繰り出せる事が、筆者の目にはとても眩しく映る。続けられる限りの間は続けて欲しいし、筆者も観戦できる限り観戦したい。来年も、彼らの興業を見られますように。『東野プロレスに栄光と幸あれ』



東野プロレス『HMF』

総会報告

九月十六日、盈進祭二日目。同村会室にて、総会を行いました。

私(前会長・黒澤豊)が同村会に参加するようになってから、役員以外の総会参加者は0〜数名。会員に参加意義を伝えられない状況が続いていましたが、今回の総会では同村会室がいっぱいに。近年、芝生に文字を書いたり、櫓を造るなど、文

化祭で一際目立つものを出して、遊び心ある卒業生たちが同村会役員として合流したのです。

東野一期生を筆頭に、初期卒業生の面々。長年のタッグチームならではの笑いやツツコミが入る「場」となった同村会室。役員が増えたことで、総会後に一回目の役員会を開催。今後は同村会を一つの組織として活性化させ成長させようということになり、旧同村会役

東野高等学校同村会 平成23年度決算書

2011. 08. 01~2012. 07. 31

収入	金額	予算額
会費	1,034,000	1,050,000
受取利息	2,162	
催事収入	25,500	
その他収入	0	
収入合計	1,061,662	1,050,000
前年度繰越金	10,887,303	
総収入合計	11,948,965	

支出 ()内は、主な内容	金額	予算額
事務用品費 (宛名ラベルなど、消耗品)	7,035	15,000
通信費 (電話・FAX・インターネット・会報等送)	159,222	250,000
催事費 (学園祭・成人記念品購入費)	135,618	260,000
印刷費 (会報・学祭案内・パンフレット)	93,468	256,000
会議費 (会議お茶代)	2,472	20,000
備品購入費	0	60,000
予備費		50,000
支出合計	397,815	911,000

翌年度への繰越額	収入合計	支出合計	繰越額
	11,948,965	397,815	11,551,150

盈進学園創立九十周年 東野高校三十周年記念

三年後の二〇一五年九月、盈進学園創立九十周年、及び東野高等学校開校三十周年という記念すべき時期を迎えます。

周年記念を控え、学園では【温故創新】をモットーに近未来プロジェクトを掲げ、短期及び中長期教育構想を立ち上げ、新たな盈進学園東野高等学校の伝統と特色の創立を行なっていく事となりました。

短期構想としましては、二〇一一年に人工芝の総合グラウンドが完成し、今年はラウンジ裏の新学習塔「Study House 21」の竣工を予定しています。

また、中長期教育構想を軸とした基金募集を行なっています。

東野高等学校同村会としても、この周年記念に対し、各種準備委員会へ参加し、卒業生としての歴史の提供、また未来の東野の一端を担える

べく参画しております。

- ・周年記念事業委員会
- ・周年行事委員会
- ・周年記念誌編集委員会

これからの盈進学園東野高等学校、また周年行事に乞うご期待ください。

詳しくは東野高等学校のホームページにも一部掲載が始まりました。ご参照ください。

「Study House 21」完成予想図



【記念事業】 <http://eishin.ac/90-30th/index.html>

東野高等学校中長期教育構想 「盈進学園 近未来プロジェクト」

FACILITIES

【教育環境・施設整備・拡充】

▼2012年▼

全ての教室において従来の黒板に代わり、電子黒板への転用も可能なホワイトボードを設置。
新棟「Study House 21」建設着工(10月)

▼2013年▼

新棟「Study House 21」竣工・完成予定(3月半ば)
学園施設の計画的リノベーション(改修・補修)に着手。ホームルーム通り(中央通り)の全舗装。
「Club House」(クラブ部室)の新設計画。

▼2014年▼

学園施設の計画的リノベーション(改修・補修工事)進行

ACADEMICS

【学習・進路指導/教育の特色の創出】

▼2012年▼

英語に親しむユニークな教育の一環として、正門内にデジタルサイネージを設置し、独自の英語教育コンテンツ(EiCE)を月替わりで放映・発行。
ネイティブ・ティーチャーとのPC画面での英会話レッスン(Sky Talk)を開始。
独自の月刊英字新聞「Higashino English Monthly」を発行。

▼2013年▼

奨学金(学費・滞在費相当額)給付による長期海外留学制度スタート(2013年1月末～)
「Study House 21」内に Study Hall(自学学習室)を兼ねた最先端デジタル教室を設置。

▼2014年▼

新たな国際理解教育の推進。
シンガポール・マレーシア修学旅行のスタート(2014年1月～)。

▼2012年▼

「周年記念誌」編纂方針の立案と基本企画スタート。

▼2013年▼

周年記念行事(プレイベント)の企画・開催
「Club House」(体育系クラブ部室)新設

▼2014年▼

周年記念行事(プレイベント)の企画・開催

温故 創新

教職員紹介

二〇一二年、東野高校に在籍されている先生方や職員の方々をご紹介します。敬称は略させていただきますのでご了承ください。皆さん、お世話になった先生方は何人くらいいらっしゃいますか？

理事長



中村 勤

校長



中川 進

教頭



北村 陽子

国語科



【上段】

河野 秀夫（文芸部）/ 島村 博道（吹奏楽部）/ 柳生 敏宏

【中段】

渡辺 智之（卓球部）/ 青木 純一（サッカー部）
/ 武井 啓充（文芸部・サッカー部）/ 高根 大輔 / 原 洋一郎
/ 此木 淳一（軽音楽部）

【下段】

鬼嶋 知見（演劇部）/ 石川 麻由子（吹奏楽部）/ 白坂 みなみ
/ 江上 紀子 / 栗原 良子 / 今関 雄史（柔道部）

数学・情報科



【上段】

猪川 博 / 前田 良郎（女子サッカー部）/ 越智 祐道 / 塚田 智雪（囲碁部・放送部）
/ 山田 哲也（テニス部）/ 五十嵐 文彦（将棋部）/ 渡部 亮（演劇部）

【下段】

松島 益弘 / 滝川 早織 / 戸所 良介（囲碁部）/ 森 俊朗（主幹）
/ 遠藤 環（バスケット部）/ 河合 伸泰

地歴公民科



【上段】

鈴木 雄太（サッカー部）/ 白倉 幸一 / 早坂 義崇 / 大隈 正平（剣道部）/ 尾崎 拓也
/ 長原 亮（卓球部）/ 平井 廣治（テニス部）/ 橋村 重美

【下段】

赤尾 明美 / 大庭 さかえ（女子サッカー部）/ 福島 静香（バトミントン部）/ 深澤 恵利子 / 前原 綾子



仲本 進一（野球部）



水口 洋一郎

理科



【上段】

鹿島 健（陸上部）/ 鞠子 和也（バスケット部）
/ 藤井 亮（写真部・生物同好会）/ 馬場 幸一 / 三浦 敏 / 小島 芳男

【下段】

富田 弥千代 / 大久保 芳郎 / 田畑 慶子（弓道部）
/ 鹿間 光晴（将棋部・RPG 同好会）

外国語科



【上段】

森川 真吾（英語部）/ 松浦 隆（茶道部・陸上部）/ 大脇 光輝 / 大道 敏史 / 手塚 政世

【中段】

ジョセフ S. サフォ（放送部）/ 大塚 大介 / 川鍋 良信（弓道部）
/ 星 雅之（少林寺拳法部）/ 山田 善郎（野球部）/ V. ポールソン コーディ

【下段】

塩田 志保 / 小林 浩子（漫画研究部）/ 磯野 綾（英語部）
/ 井上 直美（茶道部）/ 矢野 律絵



蘭田 由紀子

保健体育科



【上段】

内田 菜穂子（バトミントン部・ダンス部）/ 西本 敬（柔道部）
/ 柚木 哲治（剣道部）/ 松風 郁夫（軽音楽部）/ 小黑 真之介（野球部）

【下段】

高橋 千恵 / 武田 哲平 / 櫻木 翔太 / 富樫 浩章



北澤 理恵

芸術・家庭科



【上段】

細川 貴司 / 松浦 タケル / 菅原 英雄（美術部）/ 坂本 浩一（書道部）

【下段】

上野 康子 / 前田 麻里（家庭科部・バレーボール同好会）
/ 大森 久美子（合唱部）/ 小松 好美（吹奏楽部）



山尾 麻耶



山澄 真理



青木 妙子

事務・管理・保健室



【上段】

西勝 譲（事務）/ 流 寛（管理）/ 荻沼 茂（管理）/ 小松 浩幸（管理）/ 吉川 明秀（管理）/ 野口 清（管理）

【下段】

徳岡 泰子（SSC）/ 小野 翼（図書）/ 田中 健一（事務局長）/ 坂元 哲（事務）/ 小山 隆弘（事務）

理科



【上段】

鹿島 健（陸上部）/ 鞠子 和也（バスケット部）
/ 藤井 亮（写真部・生物同好会）/ 馬場 幸一 / 三浦 敏 / 小島 芳男

【下段】

富田 弥千代 / 大久保 芳郎 / 田畑 慶子（弓道部）
/ 鹿間 光晴（将棋部・RPG 同好会）

外国語科



【上段】

森川 真吾（英語部）/ 松浦 隆（茶道部・陸上部）/ 大脇 光輝 / 大道 敏史 / 手塚 政世

【中段】

ジョセフ S. サフォ（放送部）/ 大塚 大介 / 川鍋 良信（弓道部）
/ 星 雅之（少林寺拳法部）/ 山田 善郎（野球部）/ V. ポールソン コーディ

【下段】

塩田 志保 / 小林 浩子（漫画研究部）/ 磯野 綾（英語部）
/ 井上 直美（茶道部）/ 矢野 律絵



蘭田 由紀子



田中 美和（保健室）



望月 秀和（事務）



本多 秀代（図書）



清水 ハツ子（管理）



石場 留美子（管理）



野村 綾子（管理）



山崎 芳美（事務）/ 中島 広美（事務）/ 西谷 律子（事務）/ 戸田 知子（事務）
/ 佐藤 恭子（事務）

同村会から 会報届いた？

東野高校もまもなく二十九
年。四月には二十九期生を迎
えることになりました。卒業
生も七千人を越えました。

同村会は、進学・就職・結
婚など人生の転機を迎え、東
野と途切れてしまった卒業生
を探しております。

この会報は、卒業生全員に
発送しています。会報が届い
ていない卒業生は、同村会に
おいて『行方不明者』になっ
ております。友人の中で「会
報届いた？」の会話をぜひお
願います。そして、「届いて
ないよ」と言う卒業生がいらっ
しゃいましたら同村会までご
連絡ください。

二〇〇三年に成立した「個
人情報保護法」により、行方
不明者の名前を掲載すること
もできず、連絡の途切れてし
まった卒業生を探すことがと
ても難しくなっています。皆
様のご協力をお願いいたしま
す。卒業生の個人情報につ

ましては、同村会が厳重に管
理しています。同村会規約の
定める業務（刊行物の発送・
同村会または東野高校の行事
のお知らせなど）以外で使
用することはありません。また、
学校を含む第三者に、情報デー
タを提供することは絶対にあ
りません。ご安心ください。

そして、ご存知ですか？

校内の設備の建設は卒業生の
会社をお願いしたそうです。

修復も卒業生の会社。学園祭

も卒業生の業者が手伝ってい
たり……。管理委託をしてい
る会社には、卒業生が何人か
働いていた……。と、社会
に出てその分野で活躍してい
る卒業生が今ではいろいろな
形で東野高校に携わっていま
す。そういった意味でも、も
う一度「東野高校と繋がりを
持ちませんか。」

ましては、同村会が厳重に管
理しています。同村会規約の
定める業務（刊行物の発送・
同村会または東野高校の行事
のお知らせなど）以外で使
用することはありません。また、
学校を含む第三者に、情報デー
タを提供することは絶対にあ
りません。ご安心ください。

連絡先



メール
info@dousonkai.com

同村会役員 紹介

役職	氏名	卒業期
会 長	遠山 尚	1 期
副会長・経理	伊達 亮介	3 期
副会長	黒澤 豊	9 期
経 理	北澤 理恵	3 期
監 査	小川 清之	2 期
	馬場 正晴	3 期
	毒島 純	3 期
	羽田 寿孝	3 期
	深澤 寛	5 期
	熊谷 智子	13 期
	山本 千恵子	21 期
	下津 郁也	23 期

同村会の役員は、月一回
を目処に集まり、打ち合わ
せを行っています。今後の
活動について、卒業生につ

いて、東野のこれからにつ
いて……。同村会室（東野
高校内・活動会館二階）を
使うことが多いですが、時
には、東野高校から出
ることも。

卒業生のお店で打ち
合わせるのも、楽しい
でしょうね。「うちで会
議できるよ！」という
方、いらっしゃいます
んか？「役員がどん
なことをやっているか、
興味がある」という方
も、遠慮なくご連絡く
ださい！

▼この中に、
同村会室があります。



「ポー」と「ししゃも」
の
お墓が引っ越しました



▲新しい場所は、食堂の横です

「ポー」と「ししゃも」は、東
野高校に住んでいた犬たちです。
新聞にも大きく取り上げられ、話
題となりました。

「ポー」が二〇〇一年、そして「し
しゃも」が二〇〇九年に永眠。以
後に入学された方は、職員棟裏に
あったお墓しかご存じないかもし
れませんね。

卒業生が訪れるた
び、お菓子や花を供
えたお墓。そこに新
たな職員棟が建設さ
れるため、お墓の場
所が変わりました。
今は食堂横。あの丘
の上で、現役生たち
を見守っています。

▼ししゃも



▲ポー